WIRED VISION
それは現場で起きている。
～モノづくり企業のエコ意識～

「アカルイ」未来を考えるニュースサイト。
WIRED VISIONの情報ブログコンテンツがイズムに登場！
ライター小林敏一氏が様々な場面で見つけた
「エコの芽」の数々をご紹介します。

▲ このページのトップへ
第1回
（2007年10月22日 14時17分発表）
2008年9月29日更新
（このコンテンツは、2007年10月9日〜2008年9月までWIRED VISIONで掲載した内容を一部改変したものである。）

エコのエッセンスを探そう

ここ10年ほど、地球温暖化対策を含む環境問題に対する具体的な取り組みが活発化している。また、ファッションやアートのテーマとしても「エコ」は注目を集めている。

ライフスタイルとして「エコ」が確立しつつあるならば、それは美しいことだし、「エコ」の定義の一つが、「日々の暮らしにおけるちょっとした態度の修正によるエネルギーの節約」だとしたら、多くの人に「ちょっとした態度の変更」を促すためには、「ハイブリッドカーに乗る」「アクリル製の洗濯用ネットを使用する」といったイメージの通りであっても、そういったポチポチな方向けは必要不可欠だからだ。

エネルギーを節約するための革新的な新技術や新製品が、研究者や技術者のさらなる努力によって誕生している。だから、日常的にそういったものが生まれているわけではない（そもそも、それでは革新的な新技術や新製品ではなくない）。

一方で、一人一人のちょっとした行動の変化は、積み重ねば革新的な新技術や新製品に匹敵する大きな効果を生む可能性がある。そしてそのような変化は、生活や仕事場の日常的なかたちコツコツと蓄積していくものだ。

この連載では、産業の現場を中心に、そんな話されたエコの姿を訪ねて、紹介していくつもりだ。そして、それほどに少し足りないわけではないから、まだ名前を付けていない。いや、恐らくないかもしれない。あるいは、「これをポートにエコなのか？」という代物もあるかもしれない。ただ、大事に育てていれば、大きな花や豊かな実をつける試みがきっとあるはずだ。

とりあえず、そんな問題意識を、このブログの出発点にしようと思う。

今日のエコの芽
「エコのエッセンスを探そう」
第2回 社長が語る現場の使命

2007年10月26日 11時32分頃

10月5日、松下電器の本社広報社長が「エコクリエイティブ戦略」などが本社に発表するという日だったが、ビル内の窓から、社長のノーベル物理学賞受賞者・松下研究施設の前を走る光景に気づき、そのまま30分近く見つめていた。

それまでの「エコクリエイティブ戦略」は、環境保護を目的とする社会的使命を、技術開発の方向性を示すものとし、今後CO2削減に向けた取り組みを進めていくことを示唆している。

今日のエコの芽
経済と環境の Loaded with CO2の総量規制

ウィン・小林ミノル
1979年生まれ、日本の建築家。建築の節約に取り組むことを目指し、その活動を通じて環境保護に貢献している。

・ウィン・小林ミノルのインタビュー
  http://winjapan.net/

・Facebook
  https://www.facebook.com/
第2回

2017年10月3日

小さな努力の粒が巨大な風船

「小さな努力が積み重なって大きな成果を生む」というフレーズがよくあります。その実感を体験したり、見聞きしたりした経験を共有したいと思います。

【例】

ある企業では、従業員に毎週のミーティングで、部門ごとに新しいアイデアを提案する時間を設けていました。そのある日、新しいアイデアを提案した二人の従業員が、そのアイデアが実際の製品化に繋がった事例を紹介しました。その結果、売上が顕著に増加しました。

このように、小さな努力が積み重なって、大きな成果を生む例はたくさんあります。私たちも、小さな努力で大きな成果を生むことができるかもしれませんね。

【次回の予告】

次回は、企業のダイナミックな成長を支えるための小さな努力の事例を紹介します。ぜひお楽しみに！

© Panasonic Corporation
第4回 2007年12月1日に30種類公開
空間全体がエコ！～「エコロジーideas」探訪～

この記事は、2007年12月1日に30種類公開された「空間全体がエコ！～「エコロジーideas」探訪～」の記事です。記事のタイトルは「第4回 2007年12月1日に30種類公開」で、公開された日付は2007年12月1日です。

記事の内容は、空間全体がエコであることを探訪することです。「エコロジーideas」は、エコロジーに関するアイデアや技術を紹介するものです。

記事の下部には、記事のタイトル部分の下に「第5回 2007年12月1日に30種類公開」のリンクがあります。このリンクをクリックすると、記事の続きを読むことができます。

記事の最後には、記事の製作者の名前が記載されています。製作者の名前は「小林ミノル」で、記事のタイトル部分の下に「Wired Visionが平成19年10月1日に30種類公開された「空間全体がエコ！～「エコロジーideas」探訪～」の記事です。
新井薬師商店街のエコ活動

今年の春、他の5つの地元商店街とともに勉強会を立ち上げ、тенションの高まり、情報の活用化について討議していたところです。そして、この春、名古屋市にある新井薬師の門前町であることをPRできていないと指摘されてしまい、そこでまず、目の前をあらためて新井薬師ロゴマークを作成し、これを環境活動としてエコパックの配布も始めました（ロゴマークのパッケージを用いたエコ活動）。

商店街が作ったエコパックは折りたたみ式でクラーケ倉庫の機能付の再利用ができる2段階。どちらも表面にオリジナルロゴマークが表示されています。市街地の園林の相續繋、地元の協力も得て、すでに400枚が配布されています。また、駅前でエコパックを利用すると、キャッシュバックポイントを貰えるようになっています。

「利用者は年配の方が多いまちがいますが、若い方にも利用していただいています。これまで商店街の活性化ということと、밖에上がったようなものも主流でした。しかし、こういった地域社会に貢献できる活動も、これからは大切になっていくと思います。」

商店街の活性化とエコ、より関連性が見えてきた昨今だが、エコへの取り組みが注目を集めれば、商店街の活性化に役立つだろうという、地域を取り組みこそがエコを推進する指針でもある。地域の活性化と環境活動ももっとも良いとは「何もしない」とのことだ。こういったボトムアップ型のエコ活動が、日本でもっと増えたといいのにと思う。

今日のエコの芽
エコも商店街の活性化も現場力

ウィード 解説
"この地域の生活者、お宅を清掃、エコの大切さに不満
まるた者がいるなど、町を整え、ニッチなエコ活動
の道のりを歩みながら、地域の活性化を担うと言われている人物。"
第7回<br>静かな電気自動車ブーム到来！

電気自動車ブームが高まる中、その実情を解明しよう。"静かに進化している電気自動車市場"について、多くの目を惹きつける。特に、インフラ整備の現状や、今後の動向についての議論が盛り上がっています。

東京都の2007年に策定した"電気自動車充電施設整備促進プラン"によれば、2013年には千葉県内に約1000台の充電施設が存在することを目指しています。これらの充電施設は、都民の生活を支える重要なインフラであり、今後の発展を期待しています。

東京都の電気自動車に関する取り組みについても詳しく紹介しています。特に、電気自動車のインフラ整備に対する取り組みが注目されている。こうした取り組みは、電気自動車の普及に繋がると考えられています。今後とも注目されています。

今後エコの車は
エコを楽しむにはインフラ整備が必須

電気自動車のインフラ整備が進化している中、今後の動向についても重要な課題となっています。電気自動車の普及に繋がるインフラ整備の重要性を再認識し、今後の動向を注視しています。

今後は、電気自動車のインフラ整備の進化を待たなければなりません。電気自動車の普及に繋がるインフラ整備の重要性を再認識し、今後の動向を注視しています。
中学生のエコプロデューサー育成計画

本学では、学びのステージを創るため、エコプロデューサー育成計画を実施しています。エコプロデューサーとは、環境問題を解決するためのアイデアを生み出し、実行する人物を指します。本学では、学生がエコプロデューサーとして活躍できる環境を整備し、実践的な学びを提供しています。

エコプロデューサー育成計画の目的は、環境問題に取り組む学生の育成です。学生たちは、この計画を通じて、環境問題の理解を深め、自分たちの力を活かして環境を改善することを目指しています。エコプロデューサー育成計画の実施により、学生たちは環境問題に取り組むためのスキルを習得し、社会貢献することができるようになるでしょう。

エコプロデューサー育成計画の内容は、環境問題の理解、アイデアの発想、実行の実践など、多岐にわたります。学生たちは、環境問題について学び、アイデアを提出し、実行するためのステップを踏み出します。さらに、学生たちは環境問題に取り組むためのスキルを積み重ね、自分たちの力を活かして環境を改善することを目指しています。

本学では、エコプロデューサー育成計画を通じて、学生たちが環境問題に取り組むためのスキルを積み重ね、社会貢献することができるようになることを目指しています。エコプロデューサー育成計画は、学生たちが環境問題に取り組むためのステージを創るために実施されます。
第9回

緑の力持ちの自負

松下エコシステムズ（MESC）という企業が、松下グループ
内の緑の力持ちとして、エコシステムズの一角を担っています。新
たな組織として、松下電器産業の一部であり、またMESCは
松下グループのエネルギー部門に位置づけられています。

同社は、エネルギーの問題を解決するために、さまざまなソリューションを提供しています。

松下グループは、エネルギー問題を解決するために、さまざまなソリューションを提供しています。

今世紀のエコの芽

エコも緑の力持ちによって支えられている

テクノ・小林敏夫
1975年生まれ。電気工学を学んだ後、松下電器産業に進む
ました。エコシステムズの中で、エネルギーササーチの
役割を果たしています。
第10回

スターリングエンジンの開発現場に密着！

その名も“スターリングエンジン”です。

スターリングエンジンは、気温が高くなると出力が上がることを、熱効率を飛躍的に高めるために考案されたエンジンです。その名の通り、回転力に乏しいコンパクタードエンジンのことを指し、回転を介して発電を行うものであるとのことです。

スターリングエンジンは、回転を介して発電を行うもので、回転を介して発電するための回転を必要とするため、回転を介して発電して電気を供給する機関であるとされています。

しかし、回転を介して発電を行うことは、経済性に優れた発電方式であるという利点をもたらすため、スターリングエンジンの応用範囲は広がりつつあります。その結果、スターリングエンジンは、既存のエンジンをグリーンエネルギーに変えるための重要な役割を果たし、従来のエンジンを代替する可能性を秘めているのです。
第11回 それが現場で起きている。
スターリングエンジンの開発現場に潜入！

スターリングエンジンの開発現場に潜入！...}

「スターリングエンジンの開発現場に潜入！...」
第12回
スターリングエンジンの開発現場に足音！その夢

近年の地球温暖化とエネルギー事情から、スターリングエンジンはますます注目を集めています。その背景に、開発現場の足音が規定されており、その夢が実現に向かっていきます。

スターリングエンジンは、騒音や排気ガスを発生させないか、または極度に抑えられたエコカー。その独自性と効率性が、環境保全に貢献する可能性を秘めています。

スターリングエンジンの開発には、数多くの困難が伴うものですが、その夢は大きな力となり、最終的には地球環境を守るための足音として、世界中で知られるようになるでしょう。

スターリングエンジンの夢は、私たちの未来を守るための足音です。
第13回（2000年6月1日発行）

「世界のエコロジーサポートプロジェクト」とは？

世界自然保護基金（WWF）と下水道ビジネス大手の協

第14回（2000年12月1日発行）

「環境と生活の新しい形」

ノモス・クリピュラム集中・マガジン・イズム（ism）
第14回
「黄海エコリージョン支援プロジェクトとは？
(編集)

同様に環境問題に深く関与しているWWF(世界自然保護基金)や、環境問題を専門に扱うプロジェクトと、その背景
ならびに考え方を深く理解するために、このプロジェクトについて説明します。

第1ステージ(2007年4月〜2010年3月)

中国の漁業から、環境エコリージョン環境におけるマ
ップ、各種の素材を活用し、世界の自然環境に寄与するプロジェクトを進めてまいります。

第2ステージ(2010年1月〜2013年3月)

中国の漁業から環境に寄与するプロジェクトを推進し、環境問題を解決する方法を提案します。

第3ステージ(2013年4月〜2014年9月)

これで新しいプロジェクトが完了し、新たなプロジェクトを始める中で、
環境と地域の将来の位置づけを発表します。

第4ステージ(2015年3月〜2018年9月)

これで新しいプロジェクトが完了し、新たなプロジェクトを始める中で、
環境と地域の将来の位置づけを発表します。
パナソニックセンターエクステリアに使用済みでてんこ潤油を持ち行ってみた！（1）
第16回
(2008年2月5日 11時30分発行)
バナソニックセンター大店に使用済みてんぷら油を
持って行ってみた！（2）

というわけで、実際に業務に使用されている油を
持ちに行こうとしました。以下、油についての共感を
共有します。

今日のエコの芽
参加することの充実感、悔いがたし！

ウィードビジョン
それが現場で
起きている。
第18回 "ISM 2011" トレンドレポート

1日目、東京国際展示場にて開催された "ISM 2011" トレンドレポートに参加し、以下のような感想を持ってきました。

このトレンドレポートは、これまでの開催のように、業界が注目するトレンドを集約し、未来の市場動向を予測するというものでした。トレンドの見通しを説明するのに役立つ情報を得られるからだと思われます。

特に興味深かったのは、"IoT（インターネットオブザシングス）の時代" のトレンドでした。今後、IoT技術はますます発展し、家電製品やデジタル製品の間で情報の連携がますます強まると考えられています。また、AI（人工知能）も進化し、生活をより快適にする技術が生まれることも期待されています。

今後、これらのトレンドがどのように市場に反映されるか、注視したいと思います。
第22回
METEC®ニア一同記（4）

ソリューション販売を通じて、製品開発し、METEC®
時代においてはじまったアンガード（営業）
チームを展開して最新技術で顧客に貢献し
てきました。技研の技術力が、顧客の現場を
支えるもので、技術革新の推進が期待できる
業界であると考えています。

MEETEC®が一日で存続したいと願う社員は、チームリーダー
として、日々の業務を展開しています。営業と技術
強化を続けていければ、顧客満足と社員の幸福感
をはかることができると考えています。

「もっとも、技術革新を推進するためには、顧客との関係を
深めることが必要です。顧客との関係は、営業の
役割を果たすためのものであり、技術革新の推進に
も大いに役立つと考えています。

また、技術革新推進のためには、情報の共有が
重要です。情報の共有を通じて、顧客との関係を
深め、技術革新を推進するためのものと考えています。

今日のエコサ
前あたりがよさと後の大きな変化を理解する

今日のエコサは、前あたりがよさと後の大きな変化を
理解するためのもので、顧客との関係においても
重要な役割を果たしています。

今日のエコサは、前あたりがよさと後の大きな変化を
理解するためのもので、顧客との関係においても
重要な役割を果たしています。
METECアワード（5）

平成28年 12月号 METEC

第23回（2014年5月） METEC

当社のブロッサム特別賞を受賞したのは、先日、東京で開催されたMETEC2014のブロッサム部門で、優秀な作品が選ばれた。今回は、メカニカルアートやビジュアルアートなど、様々なジャンルの作品が紹介されている。

— METECブロッサム部門の選考には、どのような基準が用いられましたか。
— まずは特に芸術的価値を重視しています。作品がどのように芸術的に表現されているのか、また、観客に対するインパクトがあるかどうかを評価しています。さらに、技術的な面での成否も考慮し、作品がどのように製作されているか、それがどのように芸術的価値を生み出しているのかを評価しています。

— メカニカルアートやビジュアルアートの作品が上位に挙がる理由は何でしょうか。
— メカニカルアートやビジュアルアートの作品は、新たな視点を提供し、観客に新たな感動を提供することができるためです。特に、ビジュアルアートの作品は、視覚的にも芸術的にも刺激的な作品が多いです。

— 次回のブロッサム部門の選考に向けたアドバイスはありますか。
— 次回のブロッサム部門の選考に向けたアドバイスは、作品が芸術的価値を有し、技術的にも成否を示すものであることを求めています。作品は、新たな視点を提供し、観客に新たな感動を提供することができるものであることが求められます。
第24回

データ分析の使い方～社内エコシステム源データ

ソース①

それに続きます。
第25回

新日鉄住金のEcoADバイオ ～松下エコシステム

日下部社長によるオープン講演

（講演後：パネルディスカッション）

ネットワークセッション

ニューズレポート

（クリックしてぱっと！）

第25回・2019年4月号

（クリックしてぱっと！）
第26回
技術採用
～松下エコシステムズ採用見（3）～

松下エコシステムズは、2018年に開催された「WIRIZED VISION」に参加し、技術採用の一環として松下エコシステムズ採用見（3）を開催しました。本稿では、その詳細について紹介します。

技術採用は、企業が求める技術・スキルを求めるための活動で、松下エコシステムズにおいても、様々な分野での技術者採用を目的としています。この度は、松下エコシステムズ採用見（3）において、技術者採用のニーズを満たすための情報提供を行いました。

採用活動では、技術者の意欲や能力を活かすための環境を提供し、採用者との打診を深め、互いの課題を共有し合う機会を提供しています。技術採用を通じて、技術者のキャリア形成を支援し、企業間の技術交流を促進し、成長する企業間のネットワークの構築を図っています。

松下エコシステムズ採用見（3）では、毎回異なる分野での技術者採用を対象に、採用活動の詳細を紹介し、技術者の間で交流を深め、採用者との打診を深めています。その結果、採用活動を通じて、技術者のキャリア形成を支援し、企業間の技術交流を促進し、成長する企業間のネットワークの構築を図っています。

技術採用は、企業が求める技術・スキルを求めるための活動で、松下エコシステムズにおいても、様々な分野での技術者採用を目的としています。この度は、松下エコシステムズ採用見（3）において、技術者採用のニーズを満たすための情報提供を行いました。

技術採用では、技術者の意欲や能力を活かすための環境を提供し、採用者との打診を深め、互いの課題を共有し合う機会を提供しています。技術採用を通じて、技術者のキャリア形成を支援し、企業間の技術交流を促進し、成長する企業間のネットワークの構築を図っています。

松下エコシステムズ採用見（3）では、毎回異なる分野での技術者採用を対象に、採用活動の詳細を紹介し、技術者の間で交流を深め、採用者との打診を深めています。その結果、採用活動を通じて、技術者のキャリア形成を支援し、企業間の技術交流を促進し、成長する企業間のネットワークの構築を図っています。

技術採用は、企業が求める技術・スキルを求めるための活動で、松下エコシステムズにおいても、様々な分野での技術者採用を目的としています。この度は、松下エコシステムズ採用見（3）において、技術者採用のニーズを満たすための情報提供を行いました。

技術採用では、技術者の意欲や能力を活かすための環境を提供し、採用者との打診を深め、互いの課題を共有し合う機会を提供しています。技術採用を通じて、技術者のキャリア形成を支援し、企業間の技術交流を促進し、成長する企業間のネットワークの構築を図っています。
第27回
メダカハウスの効用 ～松下エコシステムズ探訪記（4）～

松下エコシステムズの都心部には、屋内戸外問わず、いたたまないグリーンインテリジェントロボットがいます。ハイウェイとビルの外側、屋根や地元の自然に、ボディ技術を利用して環境負荷を減らすためのシステムを展開しています。効率のよい環境に調和した生活環境を実現しないと、本番になりません。松下エコシステムズの効用は、屋上庭園やエコビルの現場で見ることができます。

今日のエコの学
空気の技術を土や水に応用

© Panasonic Corporation
新エコシステム
それの導入で
活発化する

今月のニュース
24時間開館は住民の財政力も向上させる
マチュピチュと世界遺産の12世紀的な環境活動

マチュピチュは、世界遺産の中の12世紀的な環境活動が行われています。特に、水の管理と森林の保護に重点が置かれています。この活動は、自然環境の保全と文化遺産の保存に貢献しています。

マチュピチュと世界遺産の12世紀的な環境活動を守るために、さまざまな取り組みが行われています。これらの中でも特に、水の管理が重要視されています。水は、生命を維持するための基本要素であり、環境の保全に不可欠です。

マチュピチュの自然環境は、水の管理が重要視されています。特に、雨水の管理は、地元の住民の生活に大きな影響を及ぼします。雨水は、農業の生産を支える一方で、洪水や土砂流失の原因にもなっています。

これまで、マチュピチュの自然環境を守るための取り組みは行われてきましたが、今後も引き続き努力が必要です。特に、水の管理のための技術や知恵が求められるでしょう。今後も、マチュピチュの自然環境を守るために、取り組みが行われることが期待されます。

マチュピチュは、世界遺産の中の12世紀的な環境活動が行われています。特に、水の管理と森林の保護に重点が置かれています。この活動は、自然環境の保全と文化遺産の保存に貢献しています。